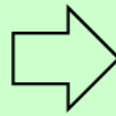


畑地かんがいの利用によるレタスの安定生産と野菜生産の周年化 ～山下 達也 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成15年
基幹作物：レタス、水稲
経営面積：2.8ha



現在：平成27年
基幹作物：レタス、水稲、みずな、こまつな、たららの芽
経営面積：5.0ha

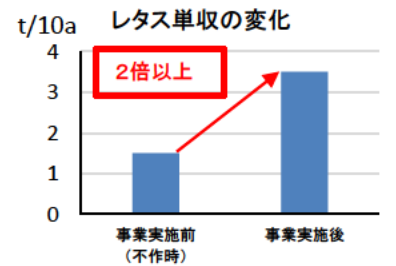
取組の経緯と経営転換のポイント等

露地レタス栽培に畑地かんがいを利用することにより、計画的な定植・防除等の各作業が可能となったことから、出荷時の価格を考慮した計画的な生産に取り組んでいる。さらにレタス栽培の省力化が図られたことから作付の拡大を図るとともに、新たにみずな、こまつな等を導入して周年での野菜生産に取り組み、事業実施前と同じ家族労働力でも経営規模の拡大を実現している。

営農改善のポイント

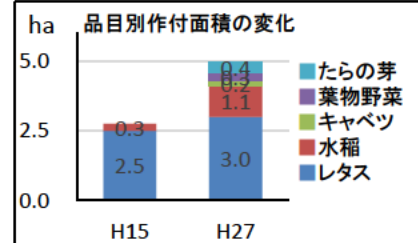
① 単収・品質の向上

レタス栽培に畑地かんがいを利用することで、計画的な定植と安定した生育の確保、短時間に効果的なタイミングで薬剤防除することが可能となった。これらにより、事業実施前よりも省力的に安定した収量が確保できるようになり、作付の拡大と出荷時の価格変動を考慮した計画的な生産が可能となった。



② 作物の変化

畑地かんがいの利用によりレタス栽培の省力化が図られたことから、新たに春・秋作の葉物野菜（みずな、こまつな）、冬作のたららの芽のハウス栽培に取り組み、事業実施前と同じ家族労働力でも経営の拡大を図っている。



③ 栽培技術の確立・向上

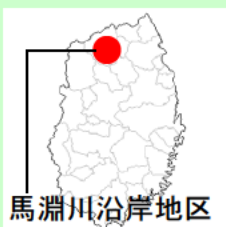
葉物野菜のハウス栽培でも畑地かんがいの利用により、かん水作業時間を手かん水と比べ1/6程度に低減。また、ハウス内の両サイドに設置したかん水チューブでのムラのないかん水により、生育が均一化し収穫期間を短縮、円滑な作付けローテーション（こまつな⇄みずな）を可能にしている。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：二戸市、一戸町
受益面積：2.191ha
事業期間：平成5年～平成23年
事業目的：用水改良、畑地かんがい
主要工事：ダム1箇所、揚水機場4箇所、用水路L=83km

位置図（岩手県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農村環境課
電話：022-263-1111
(内線4448)

(平成28年度調査時点)